

評価指標の洗い出し一覧表

西東京市都市整備部都市計画課

基準カテゴリー	評価指標		評価指標のメリット	評価指標のデメリット	備考	適正な運賃及びルートのあり方の検討に関する対応項目
	大分類	中分類				
運賃改正	<input checked="" type="checkbox"/> 収支率:収入÷支出		・数値化されるため、判断の基準にしやすい ・多くの自治体で採用されている ・対外的にも目標値として設定しやすい	・基準となる率の数字的根拠があいまい ・実現可能性の問題	・車両の償却費を含ませるか検討が必要	持続的な運行の確保
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者数		・収支率に比べて分かりやすい指標 ・実現可能な最低ラインの目安になる(年間〇人以上、前年度対比など)	・走行距離とリンクするため、非効率な長距離路線の適正な評価が難しい ・路線により目的が異なるため、評価がしにくい	・小規模の自治体で採用 ・福祉的な観点が強い	サービスの内容 持続的な運行の確保
	<input type="checkbox"/> 補助金額の上限設定	<input type="checkbox"/> 利用者ひとりあたりの補助金額の設置:補助金÷利用者数 <input type="checkbox"/> 市民ひとりあたりの補助金額の設定	・対外的な説明に利用可能 ・タクシー運賃等との比較により、代替手段の検討ができる	・現状でも収支不足のため、事業者が運営できない ・設定根拠が定めにくい(数値化) ・車両の購入など短期的な増減の影響を受ける		持続的な運行の確保
	<input type="checkbox"/> 民間路線バスとの格差		・対外的な説明に利用可能			運賃負担の公平性
ルート改正	<input checked="" type="checkbox"/> 収支率:収入÷支出		・数値化されるため、判断基準にしやすい ・多くの自治体で採用されている ・対外的にも目標値として設定しやすい	・基準となる率の数字的根拠があいまい ・実現可能性の問題		持続的な運行の確保
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者数	<input type="checkbox"/> 1便/日あたりの平均利用者数	・利用実態の把握が可能 ・月間の利用状況の把握 ・ピーク時がわかり、コスト削減が可能	・時間帯を考慮していないため、空バスを把握できない	・降車人数の把握ができない ・1日のみの調査で結論が出せない ・一定の期間調査が必要	サービスの内容 持続的な運行の確保
		<input type="checkbox"/> 1日あたりの利用者数				
		<input type="checkbox"/> 時間帯別利用者数				
		<input type="checkbox"/> 走行距離あたりの利用者数				
	<input type="checkbox"/> 各バス停の乗降人数の把握					
	<input type="checkbox"/> 補助金額の上限設定	<input type="checkbox"/> 利用者ひとりあたりの補助金額の設置:補助金÷利用者数 <input type="checkbox"/> 市民ひとりあたりの補助金額の設定	・対外的な説明に利用可能 ・タクシー運賃等との比較により、代替手段の検討ができる	・現状でも収支不足のため、事業者が運営できない ・設定根拠が定めにくい(数値化) ・車両の購入など短期的な増減の影響を受ける		運賃負担の公平性
	<input type="checkbox"/> 市民利用率	<input type="checkbox"/> 利用率:利用者数÷市民(人口)	・市民(在学、在勤を含む)と市外住民との割合の把握			サービスの内容 持続的な運行の確保 運賃負担の公平性
		<input type="checkbox"/> 沿線住民の利用率:利用者数÷沿線人口	・沿線地域の人口密度等により左右されない	・沿線人口をどの範囲でとるかにより評価が変わる		
		<input type="checkbox"/> 公共交通空白・不便地域の面積、人口のカバー率	・公共交通の実態が把握できる	・満足度と必ずしもイコールにはならない		
<input type="checkbox"/> 乗車率	<input type="checkbox"/> 乗車割合(密度):乗車人数÷定員数	・超過人員の把握	・時間帯により需要が異なるため、標準値が算出しにくい	・平均値の考え方が課題	サービスの内容	
	<input type="checkbox"/> 乗継ぎ率	・交通実態の把握 ・ICカード実績		・はなバス⇒はなバス、路線バス、電車		
<input type="checkbox"/> 適正な運行評価	<input type="checkbox"/> 運行本数、運行時間、運行距離	・収支率と合わせて考えることで、不採算路線の把握が可能			持続的な運行の確保	
<input type="checkbox"/> 市民意識・利用者満足度	<input type="checkbox"/> 利用者満足度	・利用者の実態や傾向の把握が可能	・数量化が難しい ・事業採算面の観点からの評価は難しい。	・サンプルが多いほど相関がとれる	サービスの内容	
	<input type="checkbox"/> 高齢者の外出回数の増加割合	・高齢者の占める割合が把握できる	・高齢者(65歳以上)のアンケート調査が必要			
	<input type="checkbox"/> 市民の理解度、認知度、補助金の納得度	・沿線住民以外の方の利用実態を把握できる				
	<input type="checkbox"/> 移動制約者の利用率・満足度	・移動制約者の利用実態を把握できる	・対象者の判断が難しい			
	<input type="checkbox"/> 地域の協力度	・継続して利用したい意向がわかる ・ワークショップ等を活用し、ルートやダイヤの構築の検討が可能	・数値化が難しい			
	<input type="checkbox"/> 苦情発生件数	・市民の要望を把握できる	・数値化が難しい			

評価指標の候補